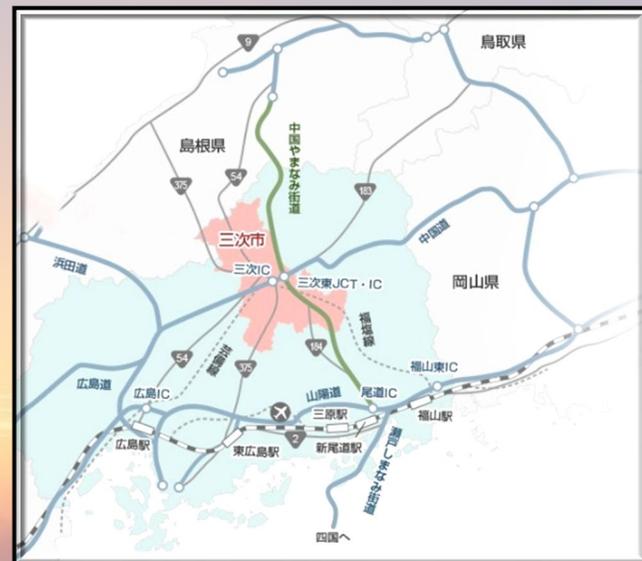


三次市の魅力ポイント

■面積 約778km² ■人口 約4.9万人 ■指定地域 過疎

- 中国地方の中心部に位置しており、古くから、山陰－山陽を結ぶ文化・経済・交通の要衝の地となっています。
- 広島県無形民俗文化財に指定されている「三次の鵜飼」は、450年以上にわたり継承されている伝統漁法であり、三次の夏の風物詩として広く愛されています！！
- 黒の真珠こと「三次ピオーネ」や「TOMOEワイン」など、多くの特産品を「みよしブランド」としてブランド化に成功！三次のワインはG7広島サミットでも提供された！！
- 三本の川が合流する特徴的な地形から、秋から早春にかけて川からあがる水蒸気が冷やされ霧が発生します。山上から三次盆地を見渡すと盆地全体が霧に覆われる「霧の海」と呼ばれる幻想的な景色が広がります！！



三次の鵜飼



三次ワイン



三次の四季



三次市の課題・検討状況

■ 政策分野 地域公共交通

■ JR芸備線の利用促進と移住・定住対策

→芸備線を利用したカープの応援ツアーやサイクルトレイン等、イベントと連携した利用促進策や観光資源の活用を含めて、恒常的に芸備線の利用者を増やす取組を通じて三次市への移住者・定住者の増加を目指す。

■ 路線バス・市民バス等、公共交通の路線維持

→市内に点在する「道の駅」「川の駅」などを拠点とし、路線バスを用いて野菜などを運搬する貨客混載の実施を検討し、利用率の低いバス路線の利活用を進める。また、AIを活用したバスの運行の効率化について導入の可能性を検討する。



ロゴマーク
「みよし 人よし 元気よし」

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月に1回程度、三次市担当者と隊員とでオンラインにて打合せを実施。
- 令和5年7月、令和6年1月に現地調査を実施し、事業者も交えた意見交換や市内視察を実施。

今後の方針

- 月に1回程度、オンラインでの打合せを継続
- バス路線を用いた貨客混載の仕組みについてバス会社・JA等を交えながら、来年度の実証調査を目指して検討を行っていく。